

(令和3年03月01日)

< ワンポイントレッスン (実践) >

< 2021年02月の製造工業生産予測指数 >

・2月26日に経済産業省から発表された今年1月の鉱工業生産指数・季節調整済みは、前月比4.2%の上昇でした。「今月は生産、出荷は上昇、在庫、在庫率は低下。鉱工業生産予測調査は2月上昇、3月は低下を予想。総じてみれば生産は持ち直している」としています。

20210226 発表

前月比、前年同月比は%

鉱工業指数 (2021年1月) 速報

	前月比				前年同月比	
	季節調整済指数				原指数	
	12月確報 (21.2.15)		1月速報 (21.2.26)		1月速報 (21.2.26)	
生産	93.8	▲1.0	97.7	4.2	88.5	▲5.3
出荷	92.8	▲1.1	95.8	3.2	87.0	▲5.1
在庫	95.3	1.1	95.1	▲0.2	96.2	▲10.5
在庫率	113.6	2.2	106.5	▲6.3	118.5	▲4.8

製造工業生産予測指数21.2.26季節調整済前月比 (%)

	2021年1月の結果	2021年2月見込み	2021年3月見込み
21年1月調査	8.9	▲0.3	
補正值	4.4 (2.7~6.1)		
結果	4.2		
21年2月調査		2.1	▲6.1
補正值		▲0.4 (▲2.1~1.3)	

出所：経済産業省ホームページ

・一方、**製造工業生産予測指数**は、前回1月29日発表では、1月大幅上昇、2月小幅の低下を予測していました。ただし、1月の補正值は90%の確率で2.7~6.1%のレンジで収まるとして4.4%としていましたが、結果は4.2%でした。

そして、2月は▲0.3%の低下としていましたが、今回は2.1%に上方修正、3月は▲6.1%の落ち込みの見込みとなっています。2月の補正值は▲0.4%、▲2.1~1.3%のレンジに90%の確率としています。

3月の大幅な落ち込み予想が気になる処ですが、まずは、新型コロナの影響を受けた2月の動向に注目です。